明治期の日本の哲学思想の影響

長谷川一（2002）の日本哲学史における仏教思想の影響について考察している。長谷川は、仏教の影響が日本の哲学思想に与えた影響について、時間的な流れの中で考察している。仏教は、日本社会の変化に伴い、哲学思想の形成に大きく影響を与えた。特に、仏教の影響が顕著なのは、明治時代以降である。

仏教思想の影響

仏教思想の中では、空想論が特に影響が大きい。空想論は、無常を理解し、仏教の教えを哲学的に考察する手法である。これは、後に明治時代の哲学家たちが展開する『他に失敗こそ意味のない』という考え方とも対応している。

仏教思想の影響は、日本哲学史における仏教思想の影響について考察している。仏教思想の影響は、哲学思想の形成に大きな役割を果たした。仏教思想の影響について、哲学家たちは、仏教思想を哲学的に考え、新たな哲学思想を形成した。仏教思想は、日本の哲学思想形成に大きな役割を果たした。